

# 令和6年度第8回広聴広報会議記録

広聴広報会議座長 千葉 秀幸

- 1 日時  
令和7年2月14日金曜日  
午前11時08分開会、午前11時22分散会
- 2 場所  
議会運営委員会室
- 3 出席議員  
千葉秀幸座長、高橋こうすけ副座長、畠山茂議員、鈴木あきこ議員、吉田敬子議員、  
工藤剛議員
- 4 事務局職員  
藤原事務局次長、昆野議事調査課総括課長、嵯峨政策調査課長、加藤主任主査、  
菊地主任主査、正部家主任主査、小野寺主任
- 5 傍聴議員  
高田一郎議員、木村幸弘議員、小林正信議員、田中辰也議員
- 6 一般傍聴者  
なし
- 7 会議に付した事件
  - (1) 協議事項  
令和7年度県議会出前講座の実施案について
  - (2) 報告事項  
令和6年度県議会出前講座（1月実施分）の実施結果について
  - (3) その他  
次回の会議日程について
- 8 議事の内容

○千葉秀幸座長 ただいまから、令和6年度第8回広聴広報会議を開会します。

これより本日の議題に入ります。

お手元に日程を配付しておりますが、2の報告事項の内容は、1の協議事項に関連することから、本日は初めに、2の報告事項を議題といたします。

初めに、2、報告事項、令和6年度県議会出前講座（1月実施分）の実施結果についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 資料2をごらん願います。

1月9日に県立大学で実施した県議会出前講座について、当日の実施概要のほか、参加した学生のアンケート結果と感想を取りまとめました。

本事業の大学での実施は、初めての取り組みでありましたが、実施校の学生や教員から、おおむね好評をいただいたところです。

3ページをごらん願います。今回受講した学生へのアンケート結果をまとめております。

事前に行ったアンケートでは、1の県議会の活動について、あまり知らない、全く知らないと回答した学生が、合わせて94.1%となっております。

2の興味・関心について、あまりない、全くないと回答した学生が、合わせて23.5%となっております。

5ページをごらん願います。

実施後のアンケートで、興味・関心が高まったと回答した学生が、合わせて96.6%となっております。

6ページをごらん願います。こちらは出前講座実施前後の意識変容となっております。

次の都道府県議会議員の選挙は投票に行きますかという問いに対し、ぜひ行きたい、又は行きたいと回答した割合が91.2%から97.3%となり、特に、ぜひ行きたいの割合が大きく伸びており、出前講座の実施後には、投票への意欲が高まっている結果となっております。

そのほか、7ページ以降につきましては感想等でございますが、主なものを掲載しておりますので、後ほどごらん願います。

なお、これらの資料は、全議員に配布するとともに、アンケート結果と感想を除く1ページと2ページを県議会ホームページに掲載したいと考えております。

また、アンケート結果は、実施校にもお知らせしたいと考えております。

報告は、以上のとおりです。よろしくお願ひいたします。

○千葉秀幸座長 ただいまの説明に対し、質疑、御意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、この報告書については、全議員への配布等を行うこととします。

次に、1、協議事項、令和7年度県議会出前講座の実施案についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 資料1-1をごらん願います。

県議会出前講座につきましては、昨年10月24日の当会議において実施要綱を改訂し、実施件数を年間6件程度と拡充して、来年度前期分の実施校を募集していたところです。

本日は、応募状況を踏まえ、来年度の実施案と派遣議員について御協議いただきたいと存じます。

まず、1の応募状況につきましては、前期申込期限までに、小学校11校、中学校4校、高等学校1校、専修学校1校の計17校から申し込みがありました。

なお、大学からの申し込みはありませんでした。

次に、2の前期の実施案につきましては、(1)の選定方針、具体には、議会日程、広域振興圏ごとの実施数、学校種別や市町村のバランス、過去の実施実績、申込校の規模、申込順などによりまして、(2)実施校案のとおり6校を候補として選定しました。

記載している実施日時につきましては、各校が希望している日時となっております。来年度の議会の年間行事計画は現在調整中ではありますが、現時点では議会行事と重複していないため対応可能なスケジュールであることから、学校の希望日時のとおり実施してはいかがかと考えております。

申し込みのあった全学校と候補の選定・未選定の理由につきましては、資料1-2を後ほどごらん願います。

次に、3の前期の派遣議員についてですが、実施要綱第5(1)、(2)において、派遣する議員は、原則として、広聴広報会議に属する議員又は広聴広報会議座長が推薦する議員2名、また、原則として、実施する学校等の所在地の県議会議員選挙区以外の議員かつ異なる会派等に属する議員とされているところです。

事前に構成員の皆様にご意見を伺ったところ、当会議に属する議員に限定せず、各会派等から議員を派遣することについて御意見があったことから、派遣議員数を各会派等の所属議員数に応じて割り当てることとしてはいかがかと考えております。

議員の会派等別割り当て数を会派等の所属議員数の按分比により算出いたしますと、記載のとおり割り当て数となります。

また、会派ごとの派遣先については、表中に丸印で記載しておりますのは、会派等の割り当て数に応じて、順番に割り当てたものでございます。

会派等ごとの派遣先について、お決めいただいた上で、各会派等における派遣議員を選出いただきたいと考えております。

これでよろしければ、各会派等における参加議員の人選結果について、4ページの様式により、2月21日金曜日までに、事務局に御報告いただきたいと存じます。

次に、4の後期の募集についてですが、当初の想定では、学校等が応募しやすいように、前期と後期に分けて募集することとしておりましたが、前期において、実施要綱第6(4)に定める1年間の実施想定6件を実施予定であることから、後期については募集しないこととしてはいかがかと考えております。

5の今後のスケジュールについてですが、次回の当会議において、派遣議員の決定、5月と6月の小学校実施分の資料やアンケートの内容について御協議いただき、4月以降、実施校や、講師となる議員の皆様と事務局とで個別に打ち合わせを行いまして、準備を進めていくこととしてはいかがかと考えております。

また、7月以降の中学校と高校実施分については、来年度の当会議において、講座やアンケートの内容を御協議いただきたいと考えております。

なお、議員派遣については、2月定例会最終日の本会議において議決いただきたいと考えております。

説明は、以上のとおりです。よろしく御協議をお願いいたします。

○千葉秀幸座長 それでは、実施校、派遣議員、後期の募集について、分けて質疑、御意見をお聞きします。

まず、前期の実施校について、質疑、御意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、前期の実施校については、事務局の説明のとおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、そのようにいたします。

なお、詳細については当職に御一任願います。

次に、派遣する議員の会派等の割り当て数及び割り当て校について、質疑、御意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、派遣議員については、事務局の説明のとおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、そのようにいたします。

なお、詳細については当職に御一任願います。

また、各会派等における参加議員の人選結果については、割り当てに基づき2月21日金曜日までに、事務局に報告願います。

次に、後期の募集及び今後のスケジュールについて、質疑、御意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、後期の募集及び今後のスケジュールについては、事務局の説明のとおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、そのようにいたします。

なお、詳細については当職に御一任願います。

次に、3、その他の次回の会議日程についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

○藤原事務局次長 次回、第9回広聴広報会議の日程についてですが、令和7年度県民と県議会との意見交換会（4月、5月実施分）の開催などについて御協議いただくため、2月定例会中の3月4日火曜日の議会運営委員会終了後に開催してはいかがかと考えております。

よろしく御協議をお願いいたします。

○千葉秀幸座長 ただいまの説明に対し、質疑、御意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○千葉秀幸座長 それでは、次回の会議は、3月4日火曜日の議会運営委員会終了後に開催することといたします。

本日、予定された案件は以上であります。

ほかに、構成員の皆様から、何かありませんか。

○畠山茂議員 話を戻すようですが、先ほどの県議会出前講座のことで確認です。高校と中学校でも実施するのですが、これは今までやってきた小学校と中身を変えるのでしょうか。多分これから打ち合わせなのでしょうけれども、どのような感じなのでしょうか。

○**嵯峨政策調査課長** やはり教育課程に応じまして、小学校と同じというわけにはいかないと考えておりますけれども、基本的には講師2名の講座形式で考えてございます。資料の内容などを入れかえて、中学生、高校生向けのカリキュラムを、新年度に入ってから御相談させていただきたいと考えております。

○**吉田敬子議員** 出前講座のオブザーバーの議員は、選挙区は関係あったか、なかったか、確認したいのと、オブザーバーの議員も2月21日までに報告が必要でしょうか。

○**嵯峨政策調査課長** オブザーバーにつきましても、令和6年度は選挙区外の方でお願いしておりましたので、引き続き、そのようにお願いしたいと思います。

オブザーバーの議員も2月21日までに御報告いただければとは思いますが、変更もあると思えますし、7月開催や9月開催のものはなかなか決められるものではないかと思えますので、その場合は追って御報告いただければと思えます。

○**工藤剛議員** 盛岡工業高校や一関市立萩荘中学校は、人数が240人とか176人という、令和6年度には経験のない大人数でやるということで、少なくなる分には全然問題ないのですが、2人で対応していけるような中身になるのでしょうか。

○**嵯峨政策調査課長** 1月に県立大学で行った学生との意見交換のようなものになりますと、とても2人では対応できないと思えますけれども、講座形式で実施するということで学校側とも調整しております。学校の先生とも相談させていただいて、講座形式で案を作成したいと考えております。

○**千葉秀幸座長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**千葉秀幸座長** なければ、本日は、これをもって散会いたします。